

厳しい競争を勝ち抜くためのAI活用術

自社製品にAIを組み込み、製品の価値を高める攻めのAI活用術について解説した資料。自社製品に組み込むにはどういう課題があるのか、商品価値を高めるにはどうすれば良いか？などを解説しています。

主な目次

1. AIの歴史と最近の動向
2. 「守りのAI」と「攻めのAI」について
 1. 自社内の業務効率化・コスト削減にAIを活用する「守りのAI」
 2. 自社製品にAIを組込むことでプロダクトの価値をあげる「攻めのAI」
 3. 「守りのAI」の例：自動車部品の自動化など
 4. 「攻めのAI」の例：自動運転におけるAI活用など
3. AIプロジェクトの課題
4. 「攻めのAI」で勝つために知っておきたいポイント
 1. エンジニアの技術力
 2. 労働集約ではなく知識集約

[申し込みする>>](#)